

みずのほ

靄と雨

靄は立つ、雨は降る
打ち消し合わない靄と雨
「わたしたち互いに在って在るものだから」
変幻自在の回りめぐりのなかで
水は自ら**在**れるもの

水鏡

水はみずから透明なのに
もつともつとも澄んでゆきたい
遠くとうといあの星を
あえかにあえぐこの星を
ひとしくいとしく映すため